

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル ① 高齢者自身が担い手となる地域づくりの取組

現状と課題

本市の要支援・要介護認定率の推移を見ると、令和3年度から令和5年度にかけて、若干増加傾向にあるものの、令和5年度の認定率は17.2%であり、全国・香川県平均より低い水準で推移している。第9期介護保険事業計画作成時の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、前期高齢者よりも後期高齢者において介護・介助の必要性を感じている方が多い傾向にあり、運動器の機能低下の可能性のある高齢者は後期高齢者では男性34.1%、女性31.4%となっている。また、転倒の可能性のある高齢者は40.8%を占めており、特に男性の後期高齢者は51.2%と最も多く、前期高齢者と比較して、11.2ポイント高くなっている。

以上のことから、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも自立した生活を送ることができるよう、現役世代からの継続的な健康づくり支援を行うとともに、保健事業と介護予防の一体的な実施により市全体で健康づくり・介護予防に取り組み、健康寿命の延伸に努める。また、高齢者が目標や生きがいを持って暮らせるよう、地域で活動できる機会や場を確保するなど、就労やボランティア等による社会参加を促進し、高齢者自身が担い手となる地域づくりを推進する。

第9期における具体的な取組

- ・健康の増進
- ・高齢者の生きがいづくり
- ・一般介護予防事業の推進

目標（事業内容、指標等）

- ・健康の増進

保健事業と介護予防の一体的実施に取り組み、健診データ等を参考に個別支援が必要な高齢者の訪問指導を充実する。また、保健師等が通いの場に積極的に関与し、健康相談に応じるとともに、フレイル予防の普及啓発を行い、健康寿命の延伸を図る。

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
健康相談件数（件）※	100	100	100
訪問件数（件）※	100	100	100

※件数は高齢者以外の成人を含む

・高齢者の生きがいづくり、一般介護予防事業の推進

高齢者個々の状況やニーズを把握し、元気なうちから介護予防に興味を持つことができるよう、介護予防の必要性和高齢者が誰でも参加できる取組について周知し、一般介護予防事業を推進する。また、地域でリーダー的役割を担い活動できる人材を発掘・養成し、地域における主体的な介護予防活動、高齢者の社会参加や地域交流を促進する。

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
足うら健康クラブ 延参加者数（人）	510	520	530
足うら健康サロン 開催回数（回）	15	20	25
くすの木クラブ（運動） 延参加者数（人）	3,050	3,075	3,100
くすの木クラブ（脳トレ） 延参加者数（人）	1,120	1,135	1,150
介護予防サポーター数（人）	190	195	200

目標の評価方法

- 時点
 - ☐ 中間見直しあり
 - ☒ 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・健康相談件数、訪問件数
 - ・介護予防事業の実施状況、参加者数
 - ・介護予防サポーター数